



企業行動・倫理規範

(初回採用：2020年8月20日、改訂：2023年3月7日)

Maxeon の CEO からのメッセージ



Maxeon では、私たちの世界、そして私たちが活動を行うコミュニティに前向きな影響をもたらす力を、お客様や社員に提供しています。

気候変動という問題に挑む上で、当社の革新的な太陽光技術やトップクラスのサステナビリティ慣行が、太陽光産業全体の水準を引き上げています。そして、当社の幅広い世界中への展開力に加え、現地の専門知識を活かせる当社は、**Powering Positive Change™**（前向きな変化を促進する）という企業目標を果たすのに比類なく適していると言えます。

ただし、自分自身の行動や企業活動は、最終的な成果と同じだけ大切です。当社のコアバリューの 1 つである「自分たちをより高い水準に保つ」にあるように、私たちは一人一人が正しいことを行う責任を持ち、倫理的な誠実さを最大限持って行動することが期待されています。この基本理念は、そのために作成されました。Maxeon の全社員、コンサルタント、取引業者、供給業者、および Maxeon を代表して業務を行うその他全員が、この企業行動・倫理規範を読む時間を取り、その内容を理解することが重要です。この規範は、私たちの行うことすべての指針となります。

皆さんの抱える疑問の多くは、本書でその答えを見つけられることでしょう。ここで答えが見つからない場合は、上司であるマネージャーに質問してください。また、倫理部長（Chief Ethics）とコンプライアンス・オフィサー（Compliance Officer）に連絡するか、Maxeon の[コンプライアンス・倫理ヘルプライン](#)へ連絡してください。すべての情報は機密かつ慎重に取り扱います。当社は助けを求めたり懸念を報告したりした個人に対する報復を一切認めません。

Maxeon では、高い倫理基準を損なうことなくステークホルダーの皆様に価値をお届けする際に、「共に成功します」。皆さんが、日々誇りと誠実さを持ってトップクラスの太陽光製品を提供しているように、自分自身の行動に関しても、一人一人が同じ誇りと誠実さを持ってくださると確信しています。

よろしくお願いいたします。

Bill Mulligan

Maxeon Solar Technologies, Ltd の CEO

目次

1.	当社の規範.....	5
2.	当社の倫理的文化.....	6
	指針となる行動.....	6
3.	法律の遵守.....	7
	腐敗防止法.....	7
4.	誠意をもって行動する.....	9
	個人との関係と利益相反.....	9
	贈り物と接待.....	10
	ビジネス機会.....	11
	外部での雇用および発明.....	11
	インサイダー取引.....	11
	競合他社の情報の入手.....	11
	政治活動.....	12
5.	資産と情報は責任をもって管理する.....	12
	Maxeon の資産を守る.....	12
	Maxeon のインベントリー.....	12
	機密情報.....	12
	データプライバシーおよび保護.....	13
	記録保存.....	13
	Maxeon のために行動する権限.....	14
6.	自分自身と会社を代表する際に区別を明確にする.....	14
	正確な記録と報告書.....	14
	営業費.....	14
	供給業者および顧客との連絡.....	14
	責任のある営業活動.....	14
	公的な発言およびプレスとの問い合わせ.....	14
	ソーシャルメディア.....	15
7.	私たちが仕事に携わるこの地球とコミュニティを改善する.....	15
	コーポレート・シチズンシップ.....	15
	環境の監視.....	15
	労働慣習 - 人権と現代奴隷.....	15
	紛争鉱物.....	16
	苦情処理メカニズム.....	16

8.	共に成功する.....	16
	作業場の安全と健康.....	16
	機会均等	16
	嫌がらせのない仕事環境.....	17
9.	質問をする、懸念事項に答える、違反を報告する.....	17
	指導を請う.....	17
	Maxeon のコンプライアンス・倫理ヘルプライン （（「内部告発者ホットライン」とも呼ばれます））.....	17
	違反の報告.....	18
	会社	18
	報復行為の禁止.....	18
	当社の規範に違反することの結果.....	19
付録		
	参照されている重要な Maxeon の方針	18
	Maxeon の主なコンプライアンスリソースおよび役職	20

概要

Maxeon Solar Technologies, Ltd.（関連会社および子会社を含め、総称して「Maxeon」）は、最高レベルの誠実さを持ってあらゆる活動を行うことに尽力しています。Maxeon は、私たちが日々 Maxeon で従う非網羅的な規則や原則として、この企業行動・倫理規範（当社の「規範」）を採用してきました。

Maxeon のコアバリューは、当社の規範の基盤となっています。

限界を押し広げる

- 当社は、太陽光技術をこれまで以上に高みに押し上げ、よりスピード感を持って技術を発展させることに没頭しています
- 当社の記録破りの太陽光技術により、顧客自身が記録を打ち立てられるようになることは、非常に誇らしいことです

自分たちをより高い水準に保つ

- 私たちは、太陽光産業全体の水準を引き上げることが、気候変動に立ち向かう上で欠かせないことだと考えています。
- 当社は、最高レベルの誠実さ、安全性、品質を得るため、そしてパネルが生産する太陽光と同じくらいクリーンとなるよう努力しています。

共に成功する

- 世界中に、信頼のおける当社の現地の営業および設置パートナーや専門家がいることで、当社は一歩先を進んでいます
- 私たちは顧客が世界に前向きな影響を与えられるようにしています

1. 当社の規範

当社の規範には、個人および法人の行動に対する Maxeon の期待事項が明記されています。これは、社員、役員、取締役会構成員、および供給業者、取引業者、パートナーなど Maxeon を代表する当事者など、Maxeon のチーム全員に該当します。そのような人物および企業体は当社の規範を遵守し、外観上不適切と見られる行動も回避するよう努めなければなりません。当社の規範に含まれる基準に違反する社員は、解雇を含む懲戒処分の対象となり、違法行為が関与する違反については、関係当局へ通報されることがあります。当社の規範に従えない第三者機関は、当社と事業を行う機会を失います。当社の規範に関して質問がある場合は、Maxeon の最高倫理・コンプライアンス責任者にご相談ください。

皆さんの業務や専門分野、そして職責に関連する法的要件を理解することは皆さんの責任です。当社の規範では広範なビジネス上の慣習および手順を取り扱いますが、生じる問題のすべてが含まれているとは限りません。より具体的で日常的な手順については Maxeon の方針の中で概説しています。各種方針の多くへは本書に記載のリンクからアクセスするか、
<https://corp.maxeon.com/esgpolicies> をご覧ください。

皆さんが会社に代わり決定を行う際に指針となるのが、当社の規範および各自の価値観です。具体的な行動が倫理的かどうか迷ったときには、自分自身に問いかけてみましょう。

- 自分の今やろうとしていることは、Maxeon のコアバリューに一致しているか？
- それは合法で、国際的な産業の最高基準に沿っており、当社の規範や会社の方針、手順、ガイドラインに一致しているか？

- 会社の評判や自分の評判に傷を付けないか？

万一、当社の方針および手順を見直し、上記の質問を考えてもその答えに自信が持てないときは、自分の上司、最高倫理・コンプライアンス責任者にその問題について相談するか、[コンプライアンス・倫理ヘルプライン](#)へ連絡しましょう。

2. 当社の倫理的文化

誠実さに関する当社の文化は、当社のコアバリューからわかります。これは、私たちが Maxeon のチーム全員に実践して欲しいと考える共通の振る舞いによって育まれるものです。

指針となる行動

- Maxeon の社員は、以下のことを必ず行わなければなりません。
 - 常に真実を言う
 - 適用法および Maxeon の方針を理解し、それに準拠する
 - 当社の規範を最低でも 1 年に 1 回読む
 - Maxeon の求めるトレーニングおよび認定を受ける
 - 適切な判断を行い、（実際に合法的であっても）不適切な行為と誤解を受けそうな行為までも回避する
 - 自身で取るべき行動の正当性に疑問があるときは助けを求める
 - 他者が法令または当社の規範に意図的に違反することに気付いた時点で、他者がそうした行為に手を染めないように介入する
 - 自身の上司、コンプライアンス・倫理ヘルプライン、または当社の規範の「違反行為の報告」の章で概説されている他の報告チャンネルのいずれかを使用して懸念を伝えたり、法律または当社の規範への潜在的な違反について報告する

年次のコンプライアンストレーニングおよび確認：Maxeon の社員や請負業者は全員、本規範に関する年次のオンライントレーニングを完了し、それに付随する年次のサポート確認書に署名する必要があります。開催できる場合、Maxeon の社員は、世界中の Maxeon の施設で法務部のメンバーによって随時提供される行動規範に関する対面トレーニングにも参加する必要があります。確認の一環として、当社の規範への違反について何も思い当たることがないか尋ねられます。

- **管理職にある Maxeon の社員は、以下のことを必ず行わなければなりません**
 - オープンで率直なコミュニケーションを促す環境を作り、はぐくむ
 - 社員が倫理的な決定を行うよう促す環境を作り、はぐくむ
 - 定期的に、ただし、最低でも 1 年に 1 回以上、当社の規範について自身のチームと話し合い、部下が倫理的責任および法的責任について理解していることを確認する
 - 自身の部下全員が指定のトレーニングを受けるように管理する
 - それぞれの監督の下、すべての社員の行動を監視および修正する
 - 社員が当社の規範、法令、Maxeon の方針の潜在的な違反について相談を持ちかけてきたときには Maxeon の[コンプライアンス・倫理ヘルプライン](#)へ報告し、当該社員が報復を受けないように保護するため必要な手順を取る
- **Maxeon の倫理的文化を作り、維持するという個々の社員の責任に加え、Maxeon は次のように行動します：**

- オープンで率直なコミュニケーションの「Speak Up」文化を促進する
- 当社の規範の潜在的な違反について報告を行う社員があらゆる種類の報復行為から保護されるようにする
- 潜在的な違反行為に関する報告のすべてを鋭意調査し、効率的に違反を解決および矯正する

3. 法律の遵守

シンガポールに本社を置き、米国の Nasdaq に上場するグローバル企業として、Maxeon およびその現地子会社、ならびに提携会社は、常に自らが事業を展開する場で、シンガポール法、米国法、現地法、規制、制度的な枠組みに準拠する責任を担っています。これは皆さんが Maxeon を代表して業務を行うすべての国とすべての管轄区で法律、ならびに、特定のシンガポール法や米国法に準拠することが義務付けられていることを意味します。

特に、皆さんには当社の事業に影響を及ぼす次の法的分野について意識していただく必要があります。

腐敗防止法

Maxeon ではあらゆる種類の収賄または不正リベートを一切受け入れません。現地の習慣、業界の慣行、または契約を成立させるための圧力に関係なく、当社は当社の基準に妥協したり、当社の評判を危険にさらすような行為を一切しません。社員は法律および Maxeon の Global Anti-Corruption Compliance Policy（グローバル腐敗行為防止法準拠方針）を理解し、それに準拠する必要があります。この方針は次のリンクからアクセスできます。

<https://corp.maxeon.com/esgpolicies>

- **商事贈収賄：** 供給業者には、品質や価格だけでなく、その供給業者の誠実さも踏まえたうえで契約を締結します。契約締結に影響を与えるような金銭や贈り物を供給業者が提供した場合、それを受け取ることは厳しく禁じられています。100 米ドル以上（管轄によってはそれ未満）の価値の物は、すべて Gifts and Entertainment Policy（贈り物および接待の方針）の下に報告されなければなりません。この方針は <https://corp.maxeon.com/esgpolicies> からご覧いただけます。また、私たちは当社の製品を、品質、サービス、価格に基づいて宣伝します。直接的または第三者を通じた間接的を問わず、顧客または潜在顧客に影響を及ぼすことを意図して、不適切な方法で、不適切な贈り物、過度な接待、価値のあるものを提供する、もしくは使用することを禁じます。

例： 購買マネージャーは、現地のショッピングモールで元社員と偶然出くわします。この元社員は、現在入札プロセス中のMaxeonの潜在供給業者の一社に勤めています。この元社員は、購買マネージャーが他の入札者が何を提供するのかに関する内部情報を提供し、潜在供給業者が確実に契約を取れるようにするのであればと、“簿外”で現金を購買マネージャーに渡しました。これは、本規範の下に厳しく禁じられており、最悪の場合、そのような行為をしたMaxeon社員は解雇されることになります。

- **公務員贈収賄：** 政府関係者への直接的または間接的な賄賂は、シンガポールでの汚職防止法や米国での海外腐敗行為防止法など、当社がビジネスを行うすべての国で違法です。賄賂は評判を傷つけ、莫大な違反金が課せられ、皆さん、および Maxeon の取締役や役員、もしくは Maxeon 自身に対し、刑事罰をもたらす可能性があります。Maxeon は、政府が行う公式な行動が Maxeon の有利となるように、直接的または仲介者を介して、直接的また

は間接的に政府職員またはその家族に価値のあるものを提供または提供することを一切容認しません。

- **政府関係者・公務員への贈り物**：多くの国で、関係の構築を促すために、特定の状況下で政府関係者・公務員に記念品的/形式的な贈り物や食事を提供することが礼儀であると考えられています。贈答品は原則として好ましくありませんが、まれに贈答品を贈るに値する場合は、以下の基準を満たす必要があります。
 - MaxeonのGlobal Anti-Corruption Compliance Policy（グローバル腐敗行為防止法準拠方針）に従い事前に承認されている
 - <https://corp.maxeon.com/esgpolicies>に記載されているMaxeonのGifts and Entertainment Policy（贈り物および接待の方針）にて市場別に設定された金銭的限度額に準拠している
 - 包み隠すことなく、透明性をもって贈る
 - 会社の帳簿および記録に適切に明記される
 - シンガポールの汚職防止法、米国の海外腐敗行為防止法、および該当する現地法に準拠する

Maxeon が保留中の申請、提案、入札、その他の関連業務を抱えている政府職員に対し、贈り物を渡すこと、食事を含めたあらゆる接待を行うことは避けなければなりません。

- **輸出入・貿易法**：当社の事業活動および製品は世界中の国々に関係しており、米国財務省外国資産管理局（「OFAC」）および欧州連合の統合金融制裁など、さまざまな法域の法律および規制に対して説明責任を負っています。これらの法律には、とりわけ、禁輸、「二重使用」の可能性がある機密技術を含むツールの輸出規制、反ボイコット規制、制裁対象国または制裁対象事業体への出入りまたは取引の禁止が含まれます。これらの法令ならびに規制は、当社事業の製品の物理的出荷だけでなく、複数の側面に適用されます。例えば、これらの法律は国境を超えた技術移転に該当する場合があります。

例：ロシアは、近年制裁に遭いました。これには、ロシア企業、ロシア市民、およびロシアの中央銀行に対する制裁が含まれます。この制裁は米国、欧州連合、英国、シンガポールなどの国々から課されました。Maxeonおよび供給業者が、新しく制裁の対象となった事業体とビジネスを行わないことが非常に大切です。

皆さんの業務上で海外からのツールや機器を購入したり、国外への出張があるとき、もしくは、国境を隔てて製品、技術、サービスを販売する場合には、Export Management and International Trade Compliance Policy and Procedures（輸出管理および国際貿易コンプライアンスの方針と手順）を見直し、自身の業務に輸出法がどのように関わってくるかが十分理解できているようにしてください。

- **資金洗浄防止法**：資金洗浄（別名マネーロンダリング）とは、個人または組織が、不正に受け取った資金を隠蔽または不正に「洗浄する」こと、あるいは、非合法的な資金源が合法的に見えるようにごまかすことを意味します。Maxeon 関係者は、違法に受け取った資金を隠蔽したり、「資金洗浄」したり、あるいは、資金源が合法的に見えるようごまかしたりしてはなりません。常に注意を怠らず、次に示すような疑わしい取引や依頼があった場合には[コンプライアンス・倫理ヘルプライン](#)に報告してください。
 - 巨額の現金での支払い
 - 契約先の団体ではない、第三者組織または提携事業体から、または第三者組織への支払いを受け入れることを促す依頼

- バイヤーまたはセラーの所在国以外の国へ資金を送信するよう促す依頼
- **競争法:** 当社は競合他社を公平に取り扱い、競争を保護するために策定されたあらゆる法令に準拠します。公正取引法および独占禁止法は、一般的に価格操作、競合他社に不公平な影響を及ぼすことを期待する競合他社間で行われる公式または非公式の同意を全体的に禁じるもので、業界の競争を保護します。競争を制限したり、減らすために競合他社（または供給業者）と非合法的な合意とみなされるような行動を取ることは常に避けてください。たとえば、次のような行為は避けなければなりません。
 - 販売地域を分割したり、顧客を割り当てたりする同意を競合他社と結ぶ
 - 価格、契約条件、経費、営業計画、その他、競争に大きく関わる内容について、競合他社と情報を交換する（または同意を結ぶ）
 - 公正な入札慣習または入札自粛期間に対する違反

禁止行為の例としては、価格協定、生産制限、市場の割り当て、地域の割り当てなどがあります。

質問や懸念がある場合は、最高倫理・コンプライアンス責任者までご相談ください。

4. 誠意をもって行動する

関係は、当社製品の質、当社の提供するサービス、そして、私たちが正直に誠意をもってお客様にサービスを提供するという事実の上に成り立ちます。誠実に行動するということは、私たちが常に一流企業としての品位を保ち、業務を遂行する上で、私たちが個人的な関心で影響を受けること（または影響を受けると見なされること）があり得ないことを示さなければなりません。Maxeon を代表するときは、常に正直に行動し、包み隠さず、利益相反を避けなければなりません。

個人の関係と利益相反

会社関係者には Maxeon の目標を促進し、会社の利益のために会社に代わり働き、当社関係者の関心と当社の関心が実質的にまたは見かけ上相反しないようにするため、Maxeon に対する受託者の忠実義務が課されます。社員は、自身、親族、または自身と深い関係にある他者のために有利な扱いを受けるため、Maxeon での地位を悪用してはなりません。これは製品の購入（社員による購入プログラムまたは友人家族の購入プログラムは例外とする）、販売、投資機会、雇用、昇格、契約者または供給業者の選出、その他の Maxeon の事業事案に適用されます。

Maxeon 関係者は、自身と身近な関係であったり、金銭的な関係を持つ個人が恩恵を受けるような業務上の意思決定に参加してはなりません。

さらに、職場での個人的な関係は、関係のある個人が他の個人に関する雇用決定を行う、または影響を与える立場にある場合、実際の、または認識された利益相反を示す可能性があります。そのような関係にある場合は、人事部に通知して、潜在的な利益相反を解決できるようサポートしてもらう必要があります。社員は、人間関係により職場を混乱させたり、仕事や判断を妨げるようなことがあってはなりません。更なる情報は、人事部にご連絡ください。

社員は、Maxeon の最善の利益のために公平な決定を行う能力に影響を与えると見なされる可能性のある行動を起こす前に、潜在的または実際の利益相反があることを開示しなければなりません。宣言は、Maxeon の利益相反開示および事前承認フォームを使用して行う必要があります。このフォームは、「グリッド」から入手するか、最高倫理・コンプライアンス責任者

(GeneralCounsel@maxeon.com) に連絡して入手できます。

よくある質問：

利益の相反とは何ですか？

社員の社員または請負人としての自身の行動に影響する可能性のある、もしくは影響するよう見られる可能性のあるプライベートまたは個人的な関心ごとのある人の置かれる状況を意味します。

利益の相反の存在はどのように知ることができますか？

利益の相反とは、相反を引き起こす可能性のある状況のことで、ある特定の個人が事実上影響を受けている点ではない点に注意することが重要です。潜在的な利益の相反についてよく意味がわからないときは、上司または最高倫理・コンプライアンス責任者に助言を求めてください。

利益の相反の例または潜在的に忠誠心の相反が起こる状況について例を示してください。

例1：あなたのいここはMaxeonの将来的に供給業者になると見なされる事業を行っており、あなたはその業務を割り当てる決定責任者の一人である。

贈り物と接待

控えめな価値の贈り物や接待を授受することは、ビジネス関係の強化に役立ちます。その場合、そうした贈り物および接待はその状況に適切で、ビジネス上の意思決定に不適切な影響を与えることがなく、Maxeonの各方針に整合したものである必要があります。Maxeonは見込み客または既存客、あるいはビジネス上で関係する他者に対する礼儀をある程度重んじること、接待、控えめな贈り物、特別な機会での食事の提供を認める一方で、そうした費用について次のような指針を設けています。

- 合理的で、<https://corp.maxeon.com/esgpolicies> に記載されている Gifts and Entertainment Policy（贈り物および接待の方針）に沿っている
- 許可を受けている
- 会社の帳簿および記録に適切に宣言および明記されている
- シンガポールの汚職防止法や米国の海外腐敗行為防止法など、適用法に一致している
- 特別な扱いや、優遇を受けることが目的ではない
- 公的に開示されたとき、Maxeon を当惑させるような状況に追い込むことのない、習慣的なビジネス上の贈り物である
- 頻繁に行われないこと

ぜいたくな、または過度の贈り物または接待は禁止です。現金または現金同等物の授受は賄賂または不正なリベートに見えることから、常に Maxeon の方針に違反します。贈り物または接待を受けるのが政府関係者・公務員である場合には特別な注意が必要です。Maxeon は、提供される贈り物や接待に関して具体的なガイドラインを設けています。

よくある質問：

自分のポケットマネーで贈り物を購入するのであっても、Maxeon の方針に従わねばなりませんか？

はい。贈り物・接待に関するMaxeonの各種方針は、贈り物が業務上の目的で提供され、かつ、あなたがMaxeonを代表している場合に適用されます。これは、あなたが返金を求めるかを問わず適用されます。

ビジネス機会

Maxeon 関係者は、Maxeon での自身の業務を通じて知ったビジネス機会に乗じること、または、Maxeon がかかる機会を既に受領し、その機会を拒否していない限り、そうした情報を第三者組織に提供することはできません。

外部での雇用および発明

フルタイムの社員は、営利目的で他の事業にサービスを提供する前、または、Maxeon での自分の業務と同じ分野の発明や事業に参加する前に、自身の上司や人事部門より書面による許可を得る必要があります。社員は自身が Maxeon と雇用関係にある間、競合他社にサービスを提供してはなりません。社外に雇用関係を結ぶ、または社外で事業を行う、もしくは、Maxeon で行っている業務に関連する発明に参加する社員は、次の規則に準拠する必要があります。

- 就業中に社外での自分の仕事、社外の事業、発明に時間を割いたり、Maxeon の資産を使ったりしてはなりません。これには Maxeon の作業場所、電話、コンピュータ、インターネットアクセス、コピー機、他の Maxeon の資産またはサービスの使用が含まれます。
- 社外での仕事、または他の雇用者のための仕事を求めるため、また、優遇を受ける為、発明作業の評価に助けになるよう他者に圧力をかけるために、Maxeon の地位を利用してはなりません。
- Maxeon でのあなたの業務上の義務の遂行力に不利な影響を及ぼす可能性のある外部での就業活動に参加すべきではありません。
- 自分の他の雇用主、外部事業、または発明に恩恵をもたらすために、Maxeon の機密情報を使用してはなりません。

よくある質問：

社外の企業または組織の取締役会役員に就任することはできますか？

はい、適切な許可を受けている限り差し支えありません。Maxeon関係者は、非営利組織、または営利組織で取締役への就任を受け入れる前に、自身のマネージャーまたは会社の副社長より上位の人物、および法務顧問の書面による許可を得る必要があります。副社長より上位の社員は、そうした地位への就任を受け入れる前に、CEOの書面による許可を得る必要があります。すべての社員は、サービスまたは取締役の職務に関し、Maxeonの機密情報の機密性を厳格に守るという義務に配慮し、そうした義務を遂行し続ける必要があります。

インサイダー取引

証券取引を行う場合に、重要な非公開の当社情報を保有していること、または家族、友人、またはその他の者に「機密情報」を提供することは違法行為です。個人的な利益のために社内情報を使用してはなりません。証券売買を行うことができるかどうかについての質問は、ストックアドミニストレーションまたは最高倫理・コンプライアンス責任者までお問い合わせください。詳細情報、指針、助言については、<https://corp.maxeon.com/esgpolicies> に記載されている Insider Trading Policy（インサイダー取引の方針）を参照してください。

競合他社の情報の入手

Maxeon は企業秘密の非合法的な使用を認めません。また、社員のだれも競合他社または他の企業の専有情報や機密情報を不正に取得しようとしてはなりません。

政治活動

当社では、適用法で許可されている場合、社員が個人的に政治活動に参加し、社員自身が選んだ立候補者や政党を支援する権利を尊重します。Maxeon では皆さんがご自身の選んだ政治活動への参加を計画した場合に適用される、具体的な方針を導入しました。あなたが政治活動に参加されるつमोरい場合は、まず最高倫理・コンプライアンス責任者からの承認を確保してください。

5. 資産と情報は責任をもって管理する

Maxeon の資産を守る

社員は Maxeon の資産を使用する場合は常に、適切な判断を行ってください。Maxeon の資産（パソコン、モバイルデバイス、プリンターなど）の個人的な使用は最低限かつ仕事のパフォーマンスに干渉しない程度にし、すべての法律および最高水準のプロフェッショナリズム、良識、常識に従ってください。Maxeon の資産の盗難もしくは不正使用に気付いたときには、速やかに上司に報告してください。

従業員は、Maxeon のコンピュータ、パソコンデバイスを使用するとき、またはその他の方法で Maxeon のアプリケーションにアクセスするときは常に注意を払い、フィッシングやその他のデータセキュリティ違反を防止するための推奨事項に従う必要があります。データ違反に気が付いた場合は、速やかに最高情報責任者にご連絡ください。

詳細情報、指針、助言については、[Acceptable Use of Information Resources and Processing of Personal Data Policy](#)（情報リソースの利用規程と個人情報の処理方針）をご覧ください。

Maxeon のインベントリ

Maxeon の電池（および銅などの原材料）、太陽光パネル、およびその他の製品は、多くの場合、Maxeon の敷地内あるいは Maxeon や第三者が管理する倉庫で保管されています。これらの製品は Maxeon の財産であり、欠陥品または損傷品であっても Maxeon の財産であることに変わりはなく、適切な承認を受けない限り、Maxeon の社員が持ち出しをしたりその他の方法で破棄することは認められていません。リクエストがある場合は、Maxeon Gives プログラム経由で申請か、法務部、人事部、または税務部より承認を得てください。

機密情報

例：デザインエンジニアは数か月にわたって機能の画期的開発をリードする任務に携わり、自身の作業内容を個人の外付けドライブに保存し、後に彼女が Maxeon を離れても自身の仕事の成果を保存できるように自宅へ持ち帰りました。この知的財産（「IP」）の許可されていない使用は当社の規範に違反します。

当社に関連する機密情報には、当社の現行の業務および計画に関する様々な資料および情報が含まれる可能性があります。例えば、機密情報には、製品開発設計、特許、商標、著作権、デザイン、製造プロセス、プログラミング技術およびアルゴリズム、ソースコード、当社の財政状態に関する情報、給与および人事情報、ならびにマーケティングおよび販売計画が含まれることがあります。機密情報は厳重に極秘扱いする必要があり、第三者が当社の経営陣によって承認された機密保持契約に署名した場合を除き、いかなる当社関連人物も、かかる機密情報を一切の第三者に対して開示することはできません。Maxeon 内であってもそうした情報は、職務上の責任を遂行するうえで知っている必要のある人物にのみ明かされるべきです。上記に従って、秘密情報は慎重に扱い、公の場所で話し合ってはなりません。

それに加えて、他社の知的財産権を尊重し、他社の知的財産を許可なく使用することを一切認めません。会社の IP を申請する、受け入れる、使用する前に、最高倫理・コンプライアンス

責任者に助言を求め、許可が下りていること、適切なライセンス関連書類が所定の場所にあることを確認しましょう。

詳細情報、指針、助言については、Acceptable Use of Information Resources and Processing of Personal Data（情報リソースの利用規程と個人情報の処理方針）および Trade Secrets and Confidential Information Policy（企業秘密および機密情報の方針）の記述をご覧ください。

よくある質問：

政府関連の契約で同時に入札している同業他社から、機密の価格情報の記載されたEメールが送られてきました。当社の入札を改善するためにこの情報を使用してもいいですか？

いいえ。特殊な状況下で機密情報を受け取った場合は、その情報を持ち主に送信し、その情報に関するコピーをすべて自身のシステムから削除します。そうした情報を他者と共有してはなりません。

機密扱いの会社情報を取引業者または第三者組織に開示することは、取引の可能性があるのであれば、開示することは必要であり、適切だと思います。この情報を開示してもいいですか？

第一に、そうした開示の業務上の必要性が存在するかを確認しましょう。存在するときは上司に相談し、機密保持契約（NDA）が交わされたことを確認します。NDA

の書式については法務部のイントラネットページを参照してください。まだ不明な点があるときは、開示を行う前に、法務部に相談してください。

データプライバシーおよび保護

Maxon は、社員、顧客、およびその他の人物の個人データを責任を持って取り扱い、世界中で適用されるデータ保護規制に準拠することを約束します。当社では、この情報の安全性を保つために、様々なセキュリティ対策を実施しています。各社員は、社員のプライバシーに関する通知（Employee Privacy Notice）を理解したうえでこれに同意し、Maxon のグローバル・プライバシー・ポリシー（Global Privacy Policy）をよく読んでこれに従い、Maxon 社員の業務に適用されるデータ保護規制を理解したうえでこれに準拠する責任を負います。

記録保存

Maxon 関係者によって行われた業務の成果物、および Maxon の業務上で収集された情報は、重要な会社の資産です。それに応じて、Maxon 関係者は常に、適用される記録管理方針、ならびに法的保持通告に常に準拠する必要があります。これらの方針は、Maxon のコンピュータやモバイルデバイスにあるハードコピーや電子ファイルなど、Maxon で作成されたすべての記録に適用されます。

例：勤勉な人事部門の専門担当者はメールを含め自分の関わる仕事のすべてのコピーを保存しています。自動アーカイブと削除機能でメールが消失するのを防ぐため、この人事専門担当者は仕事関連のメールを自身のハードドライブのフォルダーに保存しています。この人事専門担当者は、めったにこうしたメールを削除しません。この習慣的な行動は Maxon の文書保存方針に反する恐れがあり、会社にさらなる法的リスクをもたらします。

詳細情報、指針、助言については、Records Retention Policy（記録保存の方針）を参照し、皆さんの業務にこれらが適用されるかどうかを理解してください。

Maxeon のために行動する権限

Maxeon に義務を負わせる自分の権限の限度を把握することは、皆さん自身の責任です。自分自身に割り当てられた権限の限度を超えて行動しないでください。

詳細情報、指針、助言については、Corporate Approval Policy（会社による承認の方針）および自身のマネージャーに相談してください。

6. 自分自身と会社を代表する際に区別を明確にする

正確な記録と報告書

正確な記録は Maxeon の法務、財務、経営面での義務を果たす上で極めて重要です。他者をごまかすために、偽った事実を申し立てたり、重大な情報を省略したり、記録や報告書を改ざんする、あるいは他者がそうした行為をするための支援をしないでください。当社では帳簿および記録が、正確で、不備がなく、公正なものであるように管理しています。そのため、財務上の取引は、Maxeon の社内管理および手順に従って、正しく、適時に記録されなければなりません。いかなる目的においても、記録のない資金または資産を作ったり、それを持ち続けることはできません。誤った、または誤解を招くような記録は厳密に禁止され、米国企業改革法を含め複数の法令に違反する可能性があります。Maxeon は米国の NASDAQ に上場しているため、こうした法令への違反は、社員および Maxeon に財務面での責任および刑事責任をもたらす可能性があります。

営業費

Maxeon 関係者は食事、旅費などの営業費に関連する方針および手順に従い、正規の文書とともに、正確な経費の払い戻し請求を提出する義務があります。詳細情報、指針、助言については、Corporate Travel and Expense Policy（出張費・営業費の方針）を参照してください。

供給業者および顧客との連絡

当社では、私たちが相手から期待する方法で顧客や供給業者に対応します。これは、すべての供給業者および顧客に公正に対応することを意味します。供給業者および顧客とのあらゆるコミュニケーションは、透明かつ正確であり、不実な表示があってはなりません。当社は率直、誠実、正直に供給業者と事業を行い、当社の製品を市場へ送り出し、サービスを提供します。

責任のある営業活動

Maxeon は製品およびサービスの影響活動に関連して、すべての法的要件と規制的要件に準拠します。当社では製品とサービスを正確に販売し、あいまいな言葉や誇張表現、省略、それ以外の不正や誤解を招くような言葉で当社の顧客を誤魔化して製品を売り付けるようなことは一切しません。当社は自社製品の長所で顧客の購買意欲を掴みます。競合他社の製品をけなしたり、競合他社の製品やサービスに不実の苦情を申し立てることはしません。各種メディア向けに行われる公的発表や談話はすべて明確で、立証できる事実を述べ、許可された個人および許可されたチャンネルを通じて行います。詳細情報、指針、助言については、External Communications Policy（外部コミュニケーションの方針）を参照してください。

公的な発言およびプレスの問い合わせ

社員は、コーポレートコミュニケーション担当者により、公的な発言を行うことが許可された社員でない限り、メディアを含め、Maxeon を代表して発言することはできません。Maxeon に代わり発言することが許可された社員は常に、誠実、正確で、自身のコミュニケーションの内容に慎重でなければなりません。

報道各社や財務分析コミュニティからの照会は、コーポレートコミュニケーション、または投資家向け広報に転送するものとします。

例：ある上級エンジニアに、コンファレンスで、ソーラーパワー業界の技術に関する現在の動向について、短い業界向けプレゼンテーションを行って欲しいという依頼がありました。このような場合、上級エンジニアは依頼を受ける前に、コーポレートコミュニケーション担当者から書面による承認を得る必要があります。

詳細情報、指針、助言については、External Communications Policy（外部コミュニケーションの方針）を参照してください。

ソーシャルメディア

Maxeon では個人のプライバシーを尊重します。しかしながら、皆さんがソーシャルメディアのチャンネルを通じて行うこと、発言する内容が、本人は意図していなくても、Maxeon と関連付けられる可能性があります。インターネット上に自分の意見を投稿する際には気をつけてください。特に、Facebook や TikTok のようなソーシャルメディアや、WhatsApp や Viber などのチャットグループでの投稿には気を付けてください。大人数グループへ送信されるあなたの投稿やメッセージは、匿名ではないということを常に想定しましょう。いつでも、誠実、正直、そして公正に行動し、自らの投稿が Maxeon を代表するものだとして受け取られるような言い方は、そうした許可を投稿する前に受け取っていない限り、行わないでください。

7. 私たちが仕事に携わるこの地球とコミュニティを改善する

コーポレート・シチズンシップ

Maxeon は、包括的な環境、社会、ガバナンス（ESG）プログラムを実施しました。これは、私たちの価値観に合った行動を取るための主な方法の 1 つとして中心的なイニシアチブです。これには、サステナビリティレポートを年に一度発行することなどがあります。このレポートは、国際的な産業の最高基準により決定される様々な指標に関して詳しく報告するものです。

環境の監視

Maxeon は再生可能エネルギー企業のひとつとして、再生力のある経済への変換を促す上で重要な役割を担います。当社は健康的で安全かつクリーンな、地球に優しい環境を促進するビジネスの実現のため懸命に取り組んでいます。当社は、製品環境の監視におけるベストプラクティスに沿うよう努力しています。当社が、環境への前向きな影響という言葉と関連付けられることが当社の目的です。

各社員は、個人的にも組織的にも環境を維持および再生するということを、Maxeon のグローバルな環境の監視に貢献することにより、自分自身の目標として受け入れる必要があります。

労働慣習 - 人権と現代奴隷

Maxeon は人権を尊重します。これは Maxeon、そしてビジネスパートナーおよび第三者組織が、事業を展開するすべての場所で労働法に準拠することを意味します。重要なこととして、当社は公正な労働基準を強く尊重しており、業界のベストプラクティスに準拠したトレーサビリティ対策を含め、原材料に至るまでのサプライチェーンおよび Maxeon の両方において、一切の奴隷労働（従来および現代）、人身売買、児童労働または強制労働、およびその他の弱者から搾取する労働慣習を禁じています。

詳細は、次のリンクから Global Human Rights Policy（グローバル人権方針）をご参照ください。
<https://corp.maxeon.com/esgpolicies>

紛争鉱物

Maxeon は、供給業者およびパートナーに対し、材料の調達先を明確にすること、ならびに、業者およびパートナーの製品がコンゴ民主共和国または近隣の国々（スーダン、ウガンダ、ルワンダ、ブルンジ、タンザニア、ザンビア、アンゴラ、中央アフリカ共和国）といった、紛争地域から調達された素材を使用していないことを確認するよう求めています。Maxeon はサプライチェーンに対し、米国のドッド・フランク法第 1502 条に沿ったデューディリジェンスを行うことに尽力しているほか、武装組織に直接または間接的に資金を提供し、恩恵をもたらす可能性のある紛争鉱物の使用を根絶するための取り組みを積極的に支援しています。

詳細は、<https://corp.maxeon.com/esgpolicies> から Conflict Minerals Policy（紛争鉱物に関する方針）をご覧ください。

苦情処理メカニズム

上記の方針にかかわるコンプライアンスに関して苦情がある場合、すべてのステークホルダーは、担当マネージャー、Maxeon 担当者、またはコンプライアンス・倫理ヘルプラインへ申し立てを行ってください。Maxeon の法務部、人事部、および（該当する場合は）調査連携委員会が、苦情を総合的に確認し、調査したうえで、適切な措置を取って修正します。

8. 共に成功する

当社では尊重する文化を大切に、各個人の人格を尊重する仕事環境の確立のために長年取り組んできました。当社では社員間での自由なアイデアの交換を促し、社員が自身のアイデアや意見を無理なく表現できる環境の構築に努力しています。当社の事業を成長させる方法に関する各自の見方を尊重し、互いにオープンかつ正直であるようにします。他の同僚の立場に立って考えてみましょう。その同僚はある立場を支持していたり、あなたとは違う戦略を持っていたりするかもしれません。そうした意見や立場に同意できなくても、その違った見方やプレッシャーの乗り越え方について考えてみましょう。自分の業務分野や部門にとって最適なことばかり考えるように自分を制限することなく、Maxeon 全体にとってもっとも関心のあることについて考えてみましょう。

作業場の安全と健康

Maxeon 関係者は全員、あらゆる関連規則、規定、方針、法令に準拠した、安全かつ清潔で、健康的な作業環境で働く資格を有します。この種の環境を推進するために、社員はすべての安全方針と手順に準拠し、懸念事項や安全面での脅威は直ちに報告するものとします。すべての作業は安全かつ健康的で環境親和的な方法で計画、実施されなければなりません。

どのようなことがあっても、職場へ武器を持ち込んではなりません。また、すべての事業活動はすべての必要な許可証、承認、管理のもとで行われる必要があります。Maxeon では、会社の敷地内または社員が業務を行っているときに、違法な薬物を使用すること、薬物の影響下にあることを固く禁じます。

Maxeon の人事部門に関する方針は、Grid 内の Employee Services（社員サービス）ページで閲覧できます。

機会均等

社員の多様性は当社にとって大変すばらしい資産です。当社では優秀さ、職務上の適性、業績、その他の業務関連の基準をもとに雇用を決定します。また、資格のある申請者または社員の既知の身体障がいまたは精神障がいに対して合理的な対応を行います。Maxeon はあらゆる雇用面で、等しい機会を提供するよう努力し、人種、信条、肌の色、宗教、国籍、性別、障がいの

有無、性的嗜好、性同一性、年齢、もしくは政治的指向、宗教、組合への所属、民族性などによって差別することを厳格に禁じ、すべての適用法に準拠します。

嫌がらせのない仕事環境

Maxeon はいかなる種類の嫌がらせ・迷惑行為も認めません。すべての社員が常に敬意を持って、プロに相応しい行動を取り、他者に対し、失礼な行為、敵意のある行為、暴力、威嚇、脅迫または嫌がらせ・迷惑行為を行わないように期待します。これには、セクシャルハラスメント、または宗教、民族性、障がい、上記反差別の欄に言及されているその他特定可能な特徴を基にしたハラスメントが含まれます。

9. 質問をする、懸念事項に答える、違反を報告する

指導を請う

倫理上、法令上違反について懸念事項がある場合、当社の規範は必ずしも明確でなく、場合によっては判断に困ることがあるかも知れません。正しい行為であるかどうか不確かな場合は、自分に対し、次の問いかけを試みましょう。

- 合法か？
- 当社の規範に整合しているか？ Maxeon の方針やバリューに見合っているか？
- どのように見えるか？
- どう感じるか？
- Maxeon への影響は好意的か？

これらの問いかけへのいずれかの答えが「ノー」または「わからない」であれば、その状況を解決するために指導を仰ぎましょう。

当社の規範では Maxeon および関係者が遭遇する可能性のあるすべての状況を網羅することはできません。そのため、皆さんは常に、自分の抱える違和感や不安への対処法が分からなければ、指導を求めるべきです。直属の上司に相談してみましょう。しかし、その件について自分の上司に相談するのが不安なとき、自分の問い合わせへの回答が不十分であると感じたときには、現地の人事部門のマネージャーか、自身の上司のさらに上の上司（必要であれば、組織のさらに上の管理者）、最高倫理・コンプライアンス責任者、[コンプライアンス・倫理ヘルプライン](#)へ連絡してみましょう。

Maxeon のコンプライアンス・倫理ヘルプライン（「内部告発者ホットライン」とも呼ばれます）

[コンプライアンス・倫理ヘルプライン](#)は年中無休でオンラインまたは電話にて皆さんの業務を実施する上での問題、方針、規制、法的要件とのコンプライアンスに関する質問にお答えします。また、法令または本規範への既知の違反や潜在的な違反を Maxeon へ報告するためにも利用できます。報告するときは、提供する情報が詳しくれば詳しいほど、Maxeon が調査を行ったり、あなたの報告へ適切に回答することが容易になります。

報告には複数の言語を使用できます。ウェブベースの報告書を含め、独立した第三者組織がヘルプラインを運営しています。可能な場合は匿名で報告することもできます。発信者番号通知サービスは一切使用されることはなく、皆さんからの電話が追跡されることはありません。

ヘルプラインは皆さんの問題と身元情報を機密扱いにします。皆さんの情報は質問への回答に関わる人や、皆さんが報告した問題を調査、修正するのに必要な人々など、本当に必要な人以外とは共有されることはありません。皆さんの情報に、財務、会計、監査部門が関係する場合は、法の定めで取締役に必要な情報が伝達される可能性があります。

特に、会計および監査関連事案の違反については、<https://corp.maxeon.com/esgpolicies> から Whistleblower Policy Regarding Accounting and Auditing Matters（会計および監査関連事案に関する内部告発の方針）を参照してください。

違反の報告

法令または当社の規範への違反または潜在的な違反は、次のいずれかのチャネルを通じて、報告できます。

- Maxeon の [コンプライアンス・倫理ヘルプライン](#)
- Maxeon のリーダー層にいるメンバー全員
- 直属の上司
- 自分の地域の適切な顧問弁護士、最高倫理・コンプライアンス責任者、法務部門の他のメンバー
- 人事部のメンバー

違反の報告を受ける：当社の規範への事実上または潜在的な違反の報告を受けた人は次のことを実行してください。

- その報告を Maxeon の [コンプライアンス・倫理ヘルプライン](#) へ転送する
- 報告書の機密を保つ
- 報告書の個人的な調査は行わない

違反行為を報告しない場合：法令または当社の規範への違反行為を報告しない場合、それ自体が当社の規範への違反であり、雇用関係の解除を伴う可能性のある懲戒処分の対象となる可能性があります。

会社

Maxeon の関係者は本規範、法令、または規制に対する違反の申し立てについて、Maxeon または政府機関が行う調査に全面的に協力することが期待されます。Maxeon 関係者は調査の完全性を保つために、自身の知識や調査への参加を秘密に保つことが求められます。しかし、当社の規範のいずれの規定も、社員が法令上の違反を政府機関に報告したり、社員が政府機関の調査に協力することを妨げるものではありません。

報復行為の禁止

Maxeon は適用法または当社の規範への違反または潜在的な違反について、誠意をもって報告する社員、または社内または政府執行機関による調査に参加する社員に対し、報復的な措置を取ることはありません。自分が報復行為の対象になったと考える社員は、下記の適切な報告チャンネルを使用して直ちに報告してください。この報復禁止方針は次に適用されます。

- 会計、内部管理、監査に関する事案について、Maxeon が受けたすべての申し立て
- 適用法もしくは当社の規範への潜在的な違反、あるいは、報告者がかかる違反が既に起きた、起こりつつある、起こる直前であると合理的に考える違反についての情報を報告する

よくある質問：

報復禁止方針とは？

当社の規範への潜在的な違反を誠意をもって報告した人、あるいは、当社の規範への違反を報告したことで実施された調査に協力する人は、Maxeonによって保護されます。同様に、国内法もしくは現地法、あるいは規制の潜在的な違反を合理的に報告する人は保護されます。この保護は、調査が行われ、元になった報告が正しくなったことが判明した場合でも継続されます。

当社の規範に違反することの結果

法令または当社の規範に違反することは深刻な問題です。Maxeon が、ある社員が法令または当社の規範に違反したと判断した場合、その個人は雇用関係の解除、雇用関係の利点の喪失などの懲戒処分、場合によっては、刑事手続きまたは民事手続きの対象となる可能性があります。さらに、Maxeon の各種報奨制度およびプログラムは法令および当社の規範への準拠を参加条件、受給条件としています。自身の雇用範囲内で法令に違反した社員、もしくは、当社の規範への深刻な違反を行った社員は、年次もしくは半年ごとの現金ボーナス、ストックオプション、制限付き株式、あるいはその他の報奨などを、法で禁止されていない限り、受け取る資格はありません。

参照されている重要な Maxeon の方針
Audit Committee Charter（監査委員会規定）
Acceptable Use Policy（許容使用方針）
Board Diversity Statement（取締役会の多様性に関する声明）
Compensation Committee Charter（報酬委員会規定）
Conflict Minerals Policy（紛争鉱物の方針）
Conflict of Interest Disclosure Form（利益相反開示フォーム）
Corporate Approval and Signature Policy（会社の承認および署名に関する方針）
Corporate Governance Principles（コーポレート・ガバナンス原則）
Corporate Travel and Expense Policy（出張費・営業費の方針）
Export Management and International Trade Compliance Policy and Procedures（輸出管理および国際貿易コンプライアンスの方針・手順）
External Communication Policy（外部コミュニケーションの方針）
Gifts and Entertainment（贈り物および接待の方針）
Global Anti-Corruption Compliance Policy（グローバル腐敗行為防止法準拠方針）
Global Anti-Corruption Compliance Policy（グローバル腐敗行為防止法準拠方針）（中国語）
Global Anti-Corruption Compliance Policy（グローバル腐敗行為防止法準拠方針）（フランス語）
Global Anti-Corruption Compliance Policy（グローバル腐敗行為防止法準拠方針）（日本語）
Global Anti-Corruption Compliance Policy（グローバル腐敗行為防止法準拠方針）（マレー語）
Global Anti-Corruption Compliance Policy（グローバル腐敗行為防止法準拠方針）（スペイン語）
Global Anti-Corruption Compliance Policy（グローバル腐敗行為防止法準拠方針）（タガログ語）
Global Human Rights Policy（グローバル人権方針）
Insider Trading Policy（インサイダー取引の方針）
Insider Trading Policy（インサイダー取引の方針）（中国語）
Insider Trading Policy（インサイダー取引の方針）（フランス語）
Insider Trading Policy（インサイダー取引の方針）（日本語）
Insider Trading Policy（インサイダー取引の方針）（マレー語）
Insider Trading Policy（インサイダー取引の方針）（スペイン語）
Insider Trading Policy（インサイダー取引の方針）（タガログ語）
Maxeon Data Protection and Privacy Policy（Maxeon のデータ保護およびプライバシー方針）
Maxeon Solar Technologies Cookies Policy（Maxeon の太陽光技術のクッキー方針）
Nominating and Corporate Governance Committee Charter（コーポレート・ガバナンス／指名委員会の規定）

参照されている重要な Maxeon の方針
Records Management（記録管理）
Related Party Transactions（関連機関との取引）
Supplier Sustainability Guidelines（供給業者のサステナビリティに関するガイドライン）
Trade Secrets and Confidential Information Policy（企業秘密および機密情報の方針）
Whistleblower Policy（内部告発の方針）
Whistleblower Policy（内部告発の方針）（中国語）
Whistleblower Policy（内部告発の方針）（フランス語）
Whistleblower Policy（内部告発の方針）（日本語）
Whistleblower Policy（内部告発の方針）（マレー語）
Whistleblower Policy（内部告発の方針）（スペイン語）
Whistleblower Policy（内部告発の方針）（タガログ語）

Maxeon の主なコンプライアンスリソースおよび役職

リソース	役職
最高法務責任者および最高倫理・コンプライアンス責任者 現：Lindsey Wiedmann 最高倫理・コンプライアンス責任者補佐 現：Matthew Kasdin	• 行動規範 • 環境、社会、ガバナンス（ESG） • 腐敗行為防止 • 制裁 • 利益相反 • 現代奴隷 • 輸出および国際貿易 • Corporate Approval Policy（会社による承認の方針） • インサイダー取引 • 政府の奨励策および契約 • コンプライアンス・倫理ヘルプライン • Whistleblower Policy（内部告発の方針）
最高人事責任者 現：Tiffany See	• 人事部門 • 多様性、平等性、受容性
最高情報セキュリティ責任者 現：Stephen Gani	• 会社規模の情報セキュリティプログラム
グローバル・マーケティング&セールス・イネーブルメント VP 現：Valentina Maggiore	• マーケティングおよびコミュニケーション
製品&技術の法務部長 現：Marc Robinson	• データプライバシー
内部監査部長 現：Fidel Elefante	• 企業改革法（「SOX」）への準拠 • 調査連携委員会 • リスク管理 • 企業リスク管理 • 監査コンサルティング
EHS 部長 現：Chin Siang Yeo	• 環境、健康、安全